

平成29年度 長崎県立諫早東特別支援学校評価(自己評価)集計

学校教育目標	児童生徒一人一人に応じたきめ細かな教育を行い、可能な限り自らの持っている力を高めることで、自立や社会参加のための基本的な力を培い、主体的な取り組みができる、明るく、強く、たくましく生きることのできる人間の育成をめざす。
学校経営方針	①個々の特性に応じた教育課程を編成し、各学部や各課程間の共通理解を深め一貫した教育に努める。 ②家庭やこども医療福祉センターとの連携を深め、指導の充実に努める。 ③児童生徒がのびのびと安全に活動できる施設設備の充実や、教育環境づくりの推進に努める。 ④交流教育や地域社会との交流を推進し、好ましい人間関係を育て、社会性を高めるとともに、本校児童生徒に対する理解啓発を促進する。 ⑤教職員の研修を推進し、教師としての資質と専門的な知識・技能を高め、指導力の向上を図る。 ⑥積極的に情報発信に努め、開かれた学校を目指す。 ⑦専門性を生かした教育相談などを通し、地域における障害のある児童生徒等の教育のセンター的機能を果たす。 ⑧人権・平和教育の推進に努め、豊かな心と自ら学ぶ力を育てる。

前年度自己評価結果	本年度の重点努力目標
<p>○ 評価が高かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画の活用による保護者、センター及び関係機関との連携 <p>● 評価が低かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の活用や様式見直し ・情報教育機器の活用 	<p>①児童生徒一人一人のニーズに応じた指導の充実及び授業改善に努める。</p> <p>②個別の指導計画の適切な目標設定と評価により、個々の児童生徒の指導の充実に努める。</p> <p>③読書活動やあいさつ運動などを通して豊かな心を養うとともに、考える力、人と関わる力、思いや考えを伝える力を育てる教育に努める。</p> <p>④小学部・中学部を見通した一貫したキャリア教育を推進し、個々の児童生徒のキャリア発達を支</p> <p>⑤「個別の教育支援計画」の積極的活用により、保護者、こども医療福祉センター及びその他の関係機関と連携を図る。</p> <p>⑥校内の安全点検及び指導上の安全配慮を徹底し、児童生徒の事故の未然防止に努める。</p> <p>⑦こども医療福祉センターと連携して自立活動の充実に努める。</p> <p>⑧肢体不自由教育及び病弱教育の研修を計画的に行い、指導の充実に努める。</p> <p>⑨定期的な学校ホームページの更新や学校評価等の公開により、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>⑩ICTを活用した効果的な学習の研究を進め、授業実践を蓄積する。</p> <p>⑪教職員が心身ともに健康で、児童生徒と向き合う教育環境づくりを推進する。</p>

4:十分達成している 3:おおむね達成している 2:どちらかという達成されていない 1:ほとんど達成されていない

項 目 評 価	具体項目	目 標	評 価					
			4	3	2	1	H29	H28
学 校 経 営	1 教育目標の具現化	①教育目標は学校の実態やニーズに合った内容であり、具現化を図っている。	12	18			3.5	3.3
	2 経営方針の明確化と実践	②経営方針は校内外に明確に示され、職員、保護者の相互理解のもと教育活動を行っている。	6	24			3.3	3.0
	3 学級目標の具現化	③学級の実態に即した目標を設定し、学級経営を行っている。	9	21			3.4	3.1
教 育 活 動	4 教育課程の編成	④学習指導要領に基づき、児童生徒のニーズに合った特色ある教育課程を編成している。	9	21			3.4	3.1
	5 研究授業の実施	⑤各学部で一回以上の研究授業及び授業研究会、または事例研究会を行い、研鑽を深めている。	18	12			3.7	3.3
	6 教科等の指導	⑥「個別の指導計画」を活用し、教師間で必要な情報を確認、共有し、共通理解したうえで指導している。	7	21	2		3.2	3.0
⑦日々の授業において、PDCAサイクルにより授業の改善を行っている。		6	24			3.3	2.9	

教育活動	6	教科等の指導	⑧児童生徒一人一人の障害や発達の状態に応じた教材の開発と活用に努めている。	7	23			3.3	3.1
	7	自立活動	⑨個別の指導計画を活用し、児童生徒の実態や発達課題に応じた目標設定や授業を展開している。	5	24	1		3.2	3.0
			⑩児童生徒が主体的に授業に取り組むための教材教具の工夫や活用に努めている。	6	23	1		3.2	3.2
			⑪TOPSで得た助言などを自立活動及び学習活動の指導全般に活かしている。	8	20	2		3.2	3.2
	8	特別活動	⑫読書活動を充実させるための取り組みを行っている。	9	18	3		3.2	3.1
			⑬児童生徒の実態に即し、主体的な取り組みができる行事や集会活動を行っている。	10	19	1		3.3	3.5
	9	道徳	⑭道徳の授業や教育活動全体を通して、豊かな人間性を培えるよう指導している。	3	27			3.2	3.3
	10	人権教育	⑮子どもの特性をよく理解し、子どもの人権を大切に指導している。	11	20			3.5	3.4
	11	生徒指導	⑯進んであいさつをするよう指導している。	11	17	2		3.3	3.4
			⑰言葉遣いや返事が正しくできるよう指導している。	9	18	3		3.2	3.1
			⑱自ら思いや考えを伝えることができるよう指導している。	11	19			3.4	3.1
			⑲周囲と協力し、共に伸びていく子どもたちの育成に努めている。	6	24			3.3	3.3
			⑳いじめの実態把握や早期発見に努め、学校全体で組織的に対応している。	8	22			3.3	3.2
	12	キャリア教育	㉑キャリア教育を意識した指導に努めている。	3	23	4		2.9	2.6
			㉒児童生徒や学校の実態に応じた計画的な進路指導を行っている。	8	21	1		3.3	3.0
13	安全教育	㉓緊急時の対応マニュアルを全職員で共通理解し、緊急時を想定した訓練等を実施している。	13	17			3.5	3.1	
		㉔校内安全集会などを通して、児童生徒が安全に対する意識を高めるよう指導している。	11	19			3.4	3.3	
14	情報教育	㉕職員に対し、情報機器活用に関する研修会を計画的に行っている。	19	10	1		3.6	3.6	
		㉖児童生徒の学習意欲を高めるために、情報機器を活用している。	15	14	1		3.5	3.2	
15	個別の教育支援計画の活用	㉗作成から評価まで、PDCAサイクルに沿った運用や活用を行っている。	6	22	2		3.1	2.6	
		㉘保護者の理解のもと、関係機関との連携に活用している。	8	16	6		2.9	2.6	
		㉙様式や運用について、組織的に検討、改善を行っている。	7	20	3		3.1	2.8	
組織運営	16	校務分掌	㉚学校の実態に応じた組織が編成されている。	10	19	1		3.3	3.0
			㉛重点努力目標を達成できる業務内容、業務分担が行われている。	9	21			3.4	3.0
	17	各種委員会	㉜学校の諸課題に対応した検討を行い、学校運営や教育活動に反映できるよう努めている。	8	21	1		3.3	3.2
	18	校内研修	㉝校内研究は、研究テーマに沿い、計画的に行っている。	15	15			3.6	3.3
	19	現職教育	㉞教職員が共に高め合う研修を推進するために、意見交換を積極的に行っている。	8	22			3.3	3.0
㉟職員は互いの気持ちを大切に、意見交換、協力体制づくりに努めている。			9	21			3.4	2.9	
㊱子どもと向き合うための時間確保に努めている。			10	16	4		3.1	2.9	
教育環境	20	環境美化	㊲校舎内外の環境美化のために、定期的に職員作業を行っている。	10	18	2		3.3	3.1
	21	安全点検の実施	㊳安全に配慮した環境作りのために、校内安全点検を毎月実施し、補修等を行っている。	15	15			3.6	3.1

環 境 育	22	情報環境の整備	⑳2, 3か月に一回程度、ホームページを更新し、教育活動や学校生活の情報発信に努めている。	21	9			3.8	2.9
開 か れ た 学 校 づ く り	23	保護者や地域との連携	㉑保護者に対する情報提供や面談等は、適切に行っている。	16	14			3.6	3.4
			㉒保護者が「個別の教育支援計画」を支援ツールとして活用するために、「個別の教育支援計画」の作成及び活用の意図や目的の説明を行っている。	13	17			3.5	3.1
			㉓年3回の授業参観ウィークや必要に応じて保護者と適宜面談を行い、目標やニーズの共有を行っている。	16	14			3.6	3.5
			㉔「個別の教育支援計画」を基に、担任と保護者が一緒に評価を行い、共通理解を図っている。	11	19			3.4	3.2
			㉕保護者や地域に対し、情報発信を行い、学校への関心や理解を深められるように努めている。	11	17	2		3.3	3.2
	24	こども医療福祉センターとの連携	㉖センター学校連絡会、整形カンファレンス、小児カンファレンス等により、必要な情報を共有し、一人一人のニーズに応じた教育を行っている。	10	20			3.4	2.8
			㉗センターや保護者と連携を取り、児童生徒の健康状態や心理状態を把握したうえで、日常的に指導している。	9	20	1		3.3	2.7
			㉘連携シートを活用する等、自立活動における評価や課題を療法士と共有し、連携して指導している。	8	19	3		3.1	2.6
	25	他校との連携	㉙ケース会議等を通して、児童生徒に関する情報交換や引き継ぎを行っている。	10	19	1		3.3	3.3
			㉚卒業した児童生徒の支援や情報提供を行っている。	7	20	3		3.1	2.8
26	センター的機能	㉛地域の幼稚園・保育園・認定子ども園・小学校・中学校・高等学校に対する特別支援教育の理解、啓発、支援を行っている。	12	16	2		3.3	3.5	
平均								3.3	3.1

【記入されたコメント】

○職員間の雰囲気が良い。